

令和4年度 技術情報第1号
小麦 赤かび病

令和4年4月28日
静岡県病害虫防除所長

コムギ赤かび病の多発が懸念されるため、防除の徹底をお願いします。

1 発生状況

4月27日に中遠地域の小麦ほ場を調査した結果、一部で赤かび病（図）の発生が確認された。

本病は開花期～乳熟期にかけて感染し、出穂期以降の日平均気温が18℃～20℃を超え、多湿条件下で発生が助長される。本年は感受性の高い開花期以降に断続的な降雨があったことから、感染・発病しやすい環境となった。

また気象庁の1か月予報（4月23日～5月22日）によると、気温が平年より高く、降水量も平年より多いため、発生を助長すると予想される。

2 防除対策

- (1) 本病の防除適期は感染時期の開花期頃であるが、本年は多発が懸念されるため、追加防除を行う（表）。
- (2) 薬剤等の詳細については静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準（<https://www.s-boujo.jp>）を確認する。また、不明な点は病害虫防除所、農林事務所等指導機関に問い合わせる。



図 コムギ赤かび病の被害の様子

表 コムギ赤かび病に対する主な防除薬剤¹⁾

商品名	使用方法	希釈倍数使用量	使用時期	使用回数	FRACコード ²⁾
イオウフロアブル ³⁾	散布	400～800倍	-	-	M2
石灰硫黄合剤 ³⁾	散布	50～60倍、100倍	-	-	
サルファーゾル ³⁾	散布	400倍	発病前～発病初期	-	3
チルト乳剤25	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	3回以内	
ワークアップフロアブル	散布	2000～3000倍	収穫7日前まで	3回以内	
シルバキュアフロアブル	散布	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	
トリフミン水和剤	散布	1000～2000倍	収穫14日前まで	3回以内	
ストロビーフロアブル	散布	2000～3000倍	収穫14日前まで	3回以内	11
トップジンM水和剤	散布	1000～1500倍	収穫14日前まで	3回以内 (但し、出穂期以降は2回以内)	1

1) 静岡県農業安全使用指針・農作物病害虫防除基準 (<https://www.s-boujo.jp/>) に掲載されている薬剤から抜粋 (令和4年3月25日時点JPP-NET配信データによる)。

2) 薬剤を作用機構ごとに分類した番号。薬剤耐性菌の発生を未然に防ぐためには、作用機構の異なる剤をローテーションで使用する必要がある。

3) 有効成分が硫黄の剤は予防散布が中心であるため、既に発生が確認されている場合は他剤を使用する。

【問合せ先】 静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

URL <https://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>